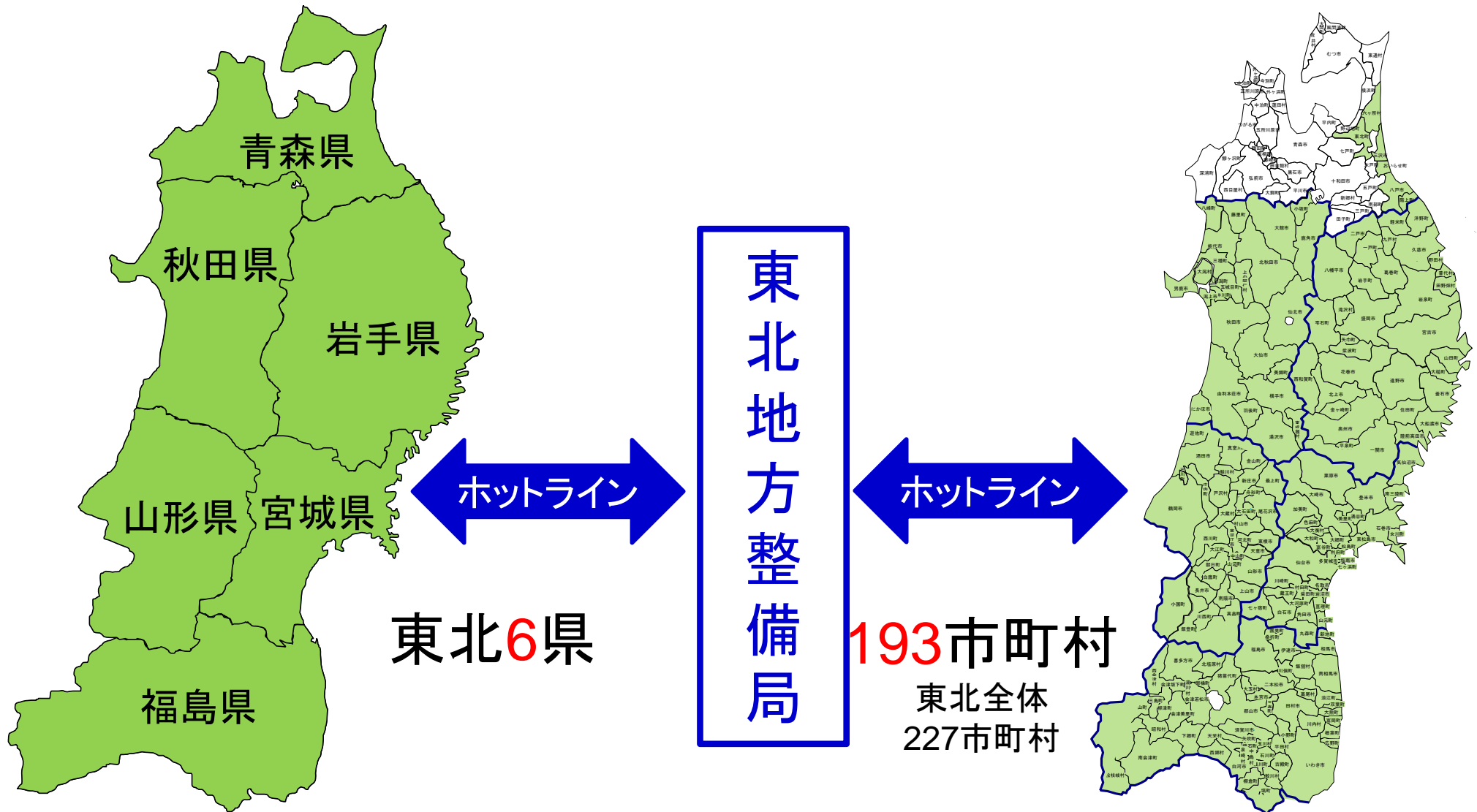
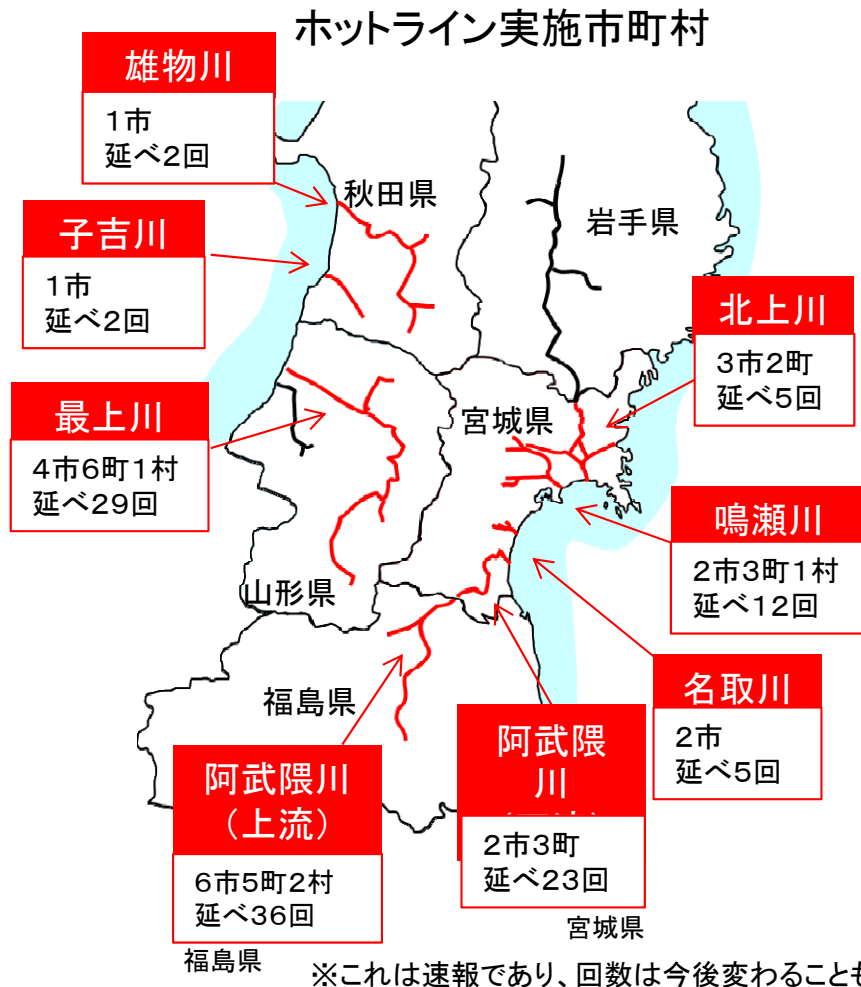


■ 台風第19号の予想進路等の気象庁情報を参考に、被害が予想される東北6県及び193市町村に対し、ホットラインを構築。



自治体への洪水ホットライン

■ 東北の国が管理している12水系のうち、今回の出水で特に水位上昇が大きかった8水系において、整備局長及び河川関係事務所長から関係市町村町等（21市19町4村）に対し、ホットラインを延べ170回実施しました。



水系名	実施回数	市町村名
鳴瀬川	9	大和町
	2	東松島市
	11	大郷町
	5	松島町
	3	大衡村
北上川	3	富谷市
	11	大崎市
	3	美里町
	2	涌谷町
	1	石巻市
	1	登米市
	1	大江町
最上川	1	戸沢村
	1	戸沢村
	3	大石田町
	3	山形市
	3	米沢市
	3	長井市
	3	南陽市
	3	山辺町
	3	中山町
	3	高島町
	3	川西町

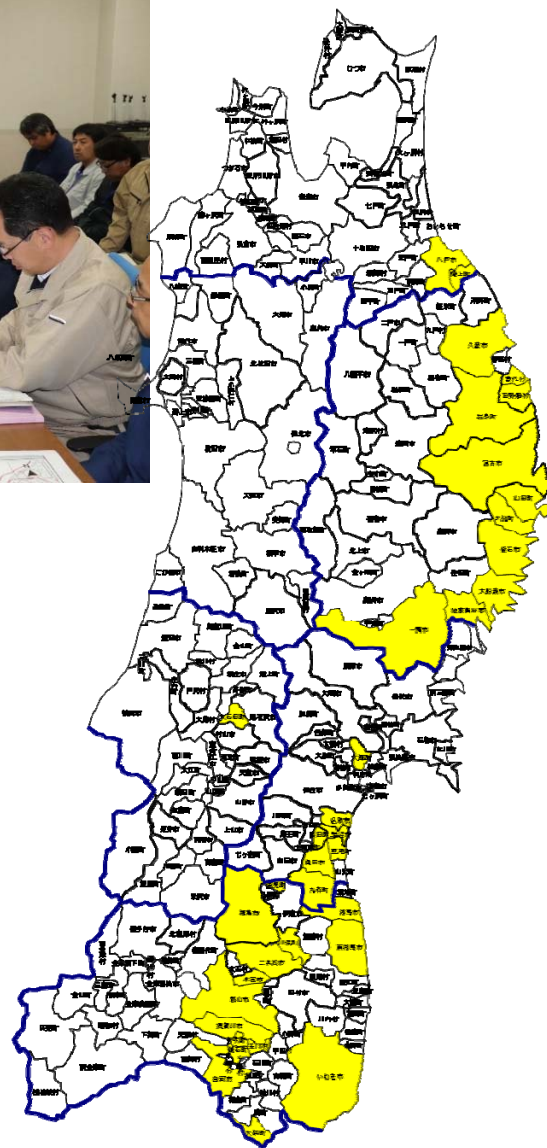
水系名	実施回数	市町村名
名取川	4	名取市
	1	仙台市
阿武隈川 (下流)	5	丸森町
	5	角田市
	6	柴田町
	3	岩沼市
阿武隈川 (上流)	4	亶理町
	4	伊達市
	3	桑折町
	2	国見町
	1	石川町
	3	玉川村
	4	二本松市
	6	本宮市
	11	須賀川市
	10	福島市
	11	郡山市
1	川俣町	
1	大玉村	
1	矢吹町	
雄物川	2	横手市
子吉川	2	由利本荘市

合計	170回	21市19町4村
----	------	----------

■ プッシュ型及び要請により、5県及び36市町村にリエゾン(現地連絡情報員)を派遣。(11月13日17:00時点)



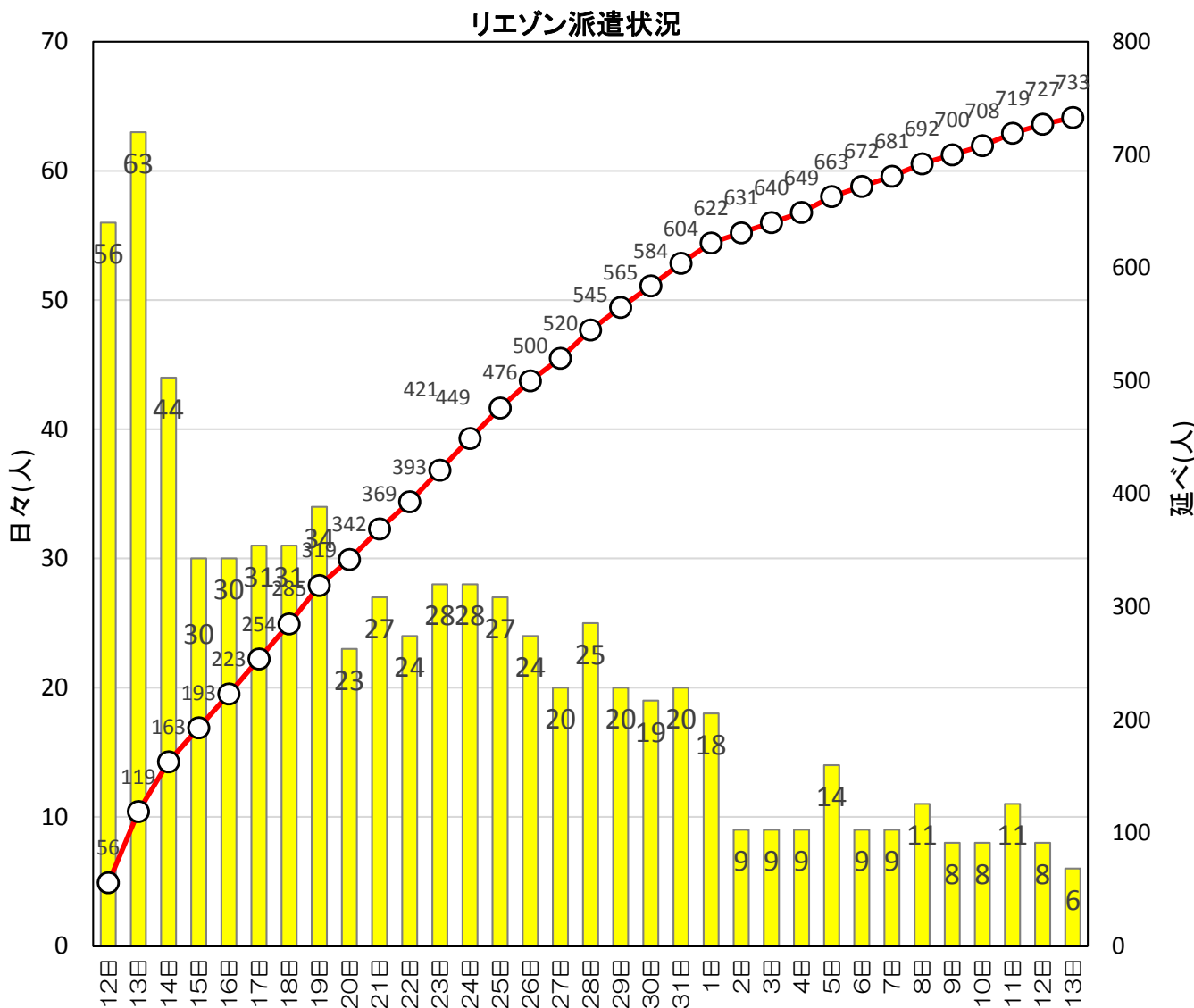
被災状況を説明するリエゾン
(岩手県普代村)



令和元年11月13日17:00現在

都道府県	自治体数	派遣先	延べ派遣人数
青森県	3	青森県、八戸市、階上町	12人
岩手県	12	岩手県、宮古市、普代村、岩泉町、久慈市、陸前高田市、大船渡市、山田町、大槌町、一関市、釜石市、田野畑村	148人
宮城県	8	宮城県、丸森町、角田市、大郷町、岩沼市、柴田町、亶理町、名取市	190人
山形県	2	山形県、大石田町	5人
福島県	16	福島県、郡山市、川俣村、須賀川市、玉川村、本宮市、相馬市、鏡石町、矢吹町、矢祭町、福島市、南相馬市、いわき市、二本松市、国見町、白河市	378人
合計	41	5県 19市 13町 4村	733人

- 5県36市町村に延べ733人を派遣(11月13日現在)。
- 初動の10月13日にピークとなる63人を派遣し、自治体ニーズの把握と迅速な対応を実施。**
- 主な要請内容は、インフラ関係の技術的支援、復旧支援、排水支援。



10/15 災害対策本部出席(福島県相馬市)



10/16 災害対策本部出席(宮城県庁)

自治体支援(物資等要請対応)

■ ホットラインやリエゾン経由での市町村からの物資等の支援要請に対し迅速に対応。

日時	要請内容
10/13	手こぎボート
10/15	土のう袋(数量10,000袋)
10/16	「カラーコーン150個」「コーンパー75個」 「ブルーシート(厚手)100枚」 「バリケード100個」 「トンパック(土のう用)200袋」、「トンパック(UV対応)300袋」
10/16	土のう袋5000袋(土が入っているもの。不可能なら袋だけでも)
10/17	ブルーシート100枚
10/17	土のう袋10,000袋
10/17	仮設トイレ 17基
10/17	麻袋(規格68cm×90cm)30,000枚 ※ヘドロ処理、住民配布用
10/18	土嚢3,000袋(大波2000袋、飯野1000袋)
10/20	トンパック(土のう用)1,000袋 消石灰(10kg入り)1,000袋



協定を締結している関係団体の協力を得て、迅速に支援



相馬市へ飲料水を支援



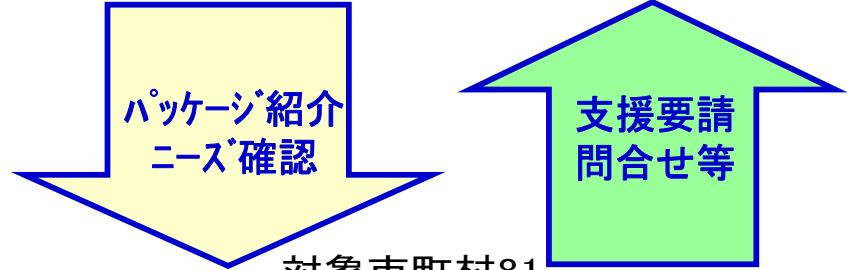
郡山市へ土のうを支援

- 11月7日政府が「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」をとりまとめ、公表。
- 東北地方整備局では「事務所巡回リエゾン」が市町村の防災担当部局と面談のうえ、国土交通省所管の取り組みを説明しニーズ確認等を行うとともに、政府全体の取り組み内容についても紹介。
- 災害救助法適用市町村のうち、岩手県、宮城県、福島県の81市町村を対象に実施。

被災者の生活と生業(なりわい)の再建に向けた対策パッケージ

- 【国土交通省の取り組み】
- ・廃棄物・土砂の撤去
 - ・住宅の再建
 - ・観光需要喚起に向けた対策
 - ・公共土木施設等の災害応急復旧等
 - ・地域住民の交通手段の確保

東北地方整備局
「事務所巡回リエゾン」



対象市町村81

【政府全体の主な取り組み内容】 令和元年11月7日
台風第19号等
被災者生活支援チーム

1. 基本方針

- ・台風第15号及び第19号をはじめとした一連の豪雨・暴風を受けて、被災者のニーズや地域ごとの特性を踏まえつつ、被災者の生活・生業の再建に向け、緊急に対応すべき施策をとりまとめ、予備費等の措置を講じていく。今後も、被災者の安心感を確保し、被災自治体が安心して復旧・復興に取り組めるよう、切れ目なく、財政措置等を講じていく。
- ・被災自治体等とともに、被災者目線に立ち、一日も早い被災地の応急復旧、生活の再建、生業の再建等に全力を尽くしていく。

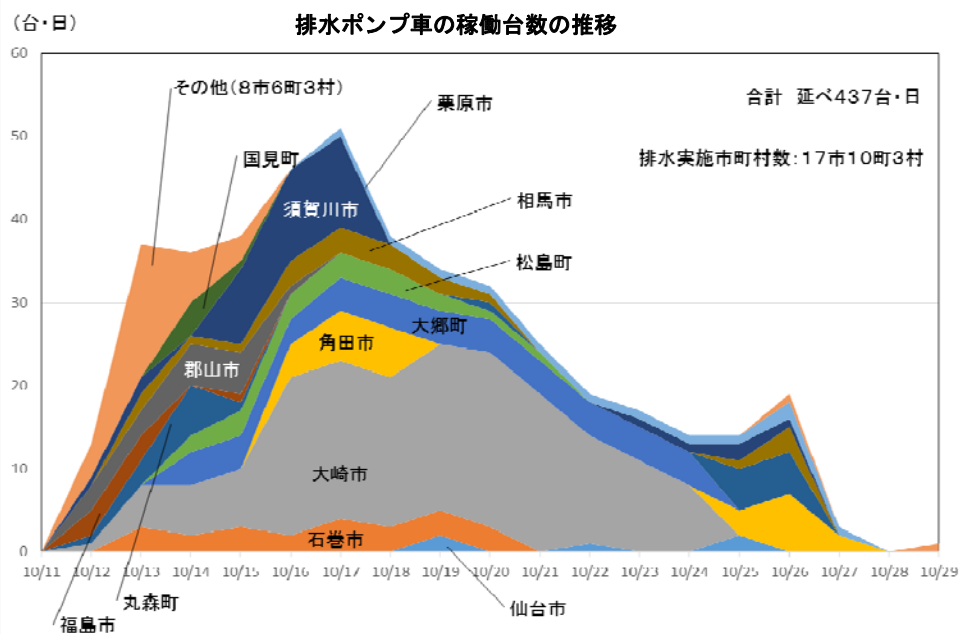
2. 緊急対策(主なもの)

- ①生活の再建
- ②生業の再建
- ③災害応急復旧
- ④災害救助等

岩手県6	宮城県34		福島県41		
宮古市	塩竈市	亶理町	福島市	葛尾村	塙町
久慈市	気仙沼市	山元町	二本松市	新地町	鮫川村
釜石市	白石市	七ヶ浜町	伊達市	飯舘村	石川町
山田町	名取市	利府町	本宮市	田村市	玉川村
田野畑村	角田市	大和町	桑折町	三春町	平田村
普代村	多賀城市	大衡村	国見町	小野町	浅川町
	岩沼市	色麻町	川俣町	郡山市	古殿町
	栗原市	加美町	大玉村	白河市	
	大崎市	南三陸町	いわき市	須賀川市	
	富谷市	石巻市	相馬市	鏡石町	
	蔵王町	登米市	南相馬市	天栄村	
	七ヶ宿町	東松島市	広野町	西郷村	
	大河原町	松島町	檜葉町	泉崎村	
	村田町	大郷町	富岡町	中島村	
	柴田町	涌谷町	川内村	矢吹町	
	川崎町	美里町	大熊町	棚倉町	
	丸森町	女川町	浪江町	矢祭町	

排水ポンプ車の作業状況

- 浸水箇所の排水作業は、17市10町3村に**延べ437台・日**（実稼働）の排水ポンプ車を派遣し、**8,478千m³**（推定）の排水を実施。
- 排水量が最も多かった**吉田川（大崎市、松島町、大郷町）**では**2週間**に渡る排水作業となった。



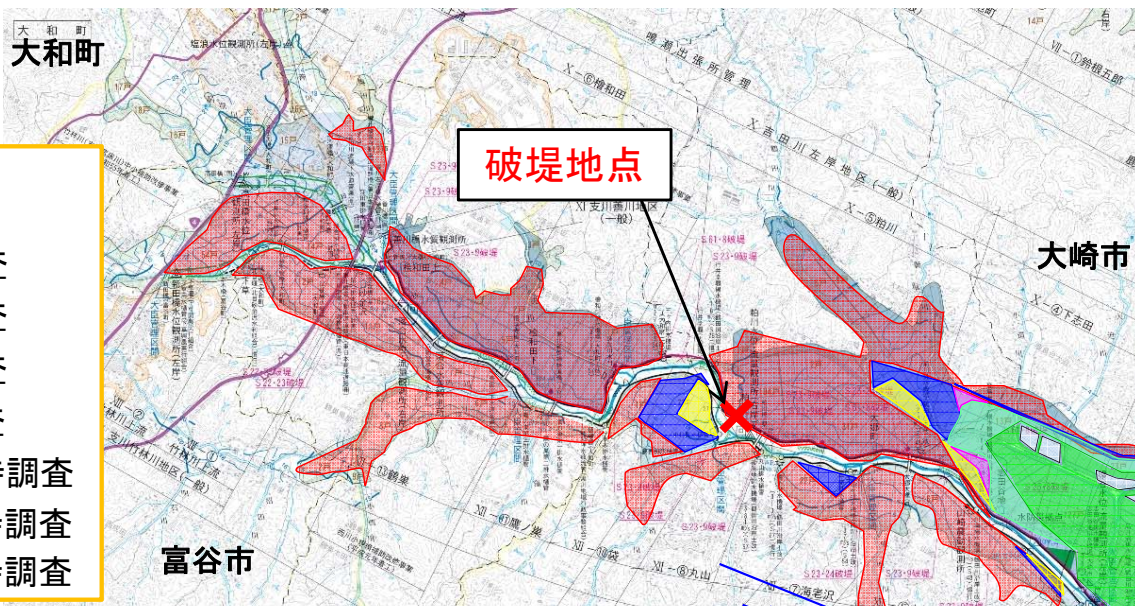
吉田川における排水作業状況



郡山市内の浸水箇所における排水作業状況

台風19号による河川(鳴瀬川水系吉田川(一部、鳴瀬川含む))の被災状況

N
4



- 【暫定】<速報>10月13日調査
- 【暫定】<速報>10月16日調査
- 【暫定】<速報>10月17日調査
- 【暫定】<速報>10月18日調査
- 【暫定】<速報>10月20日10時調査
- 【暫定】<速報>10月21日10時調査
- 【暫定】<速報>10月23日10時調査

凡例

- 10月13日調査
- 10月16日調査
- 10月17日調査
- 10月18日調査
- 10月20日10時調査
- 10月21日10時調査
- 10月23日10時調査



- 浸水面積 約5,700ha
- 浸水面積 約1,800ha
- 浸水面積 約1,200ha
- 浸水面積 約1,000ha
- 浸水面積 約990ha
- 浸水面積 約740ha
- 浸水面積 約60ha

**【暫定】<速報>10月24日14時
浸水面積 約0ha(概ね解消)**

- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。(承認番号 平20業使、第203-24011号)」

台風19号による河川(阿武隈川水系阿武隈川下流(宮城県))の被災状況

浸水面積 約9,200ha

【暫定】<速報>10月13日調査

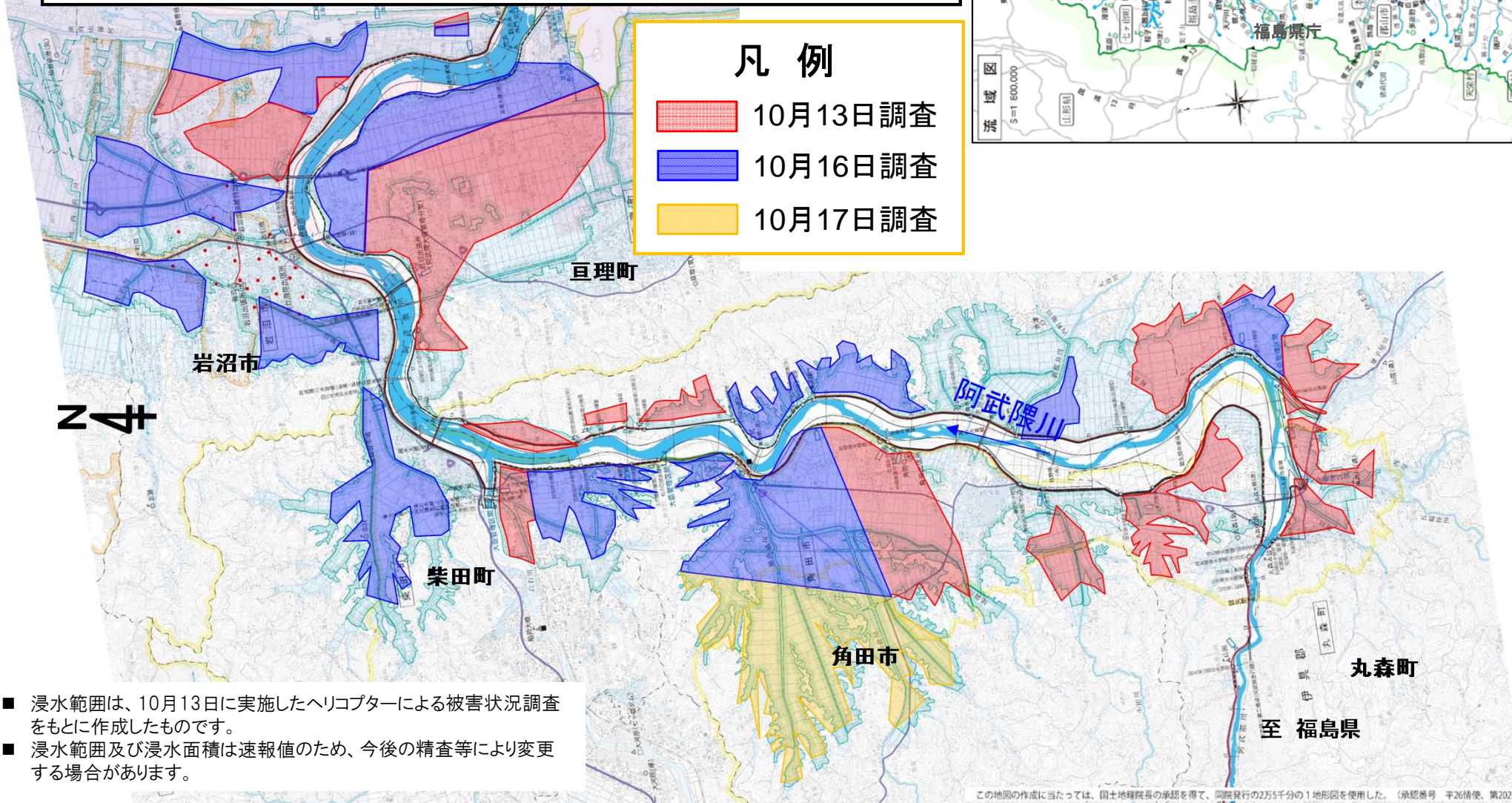
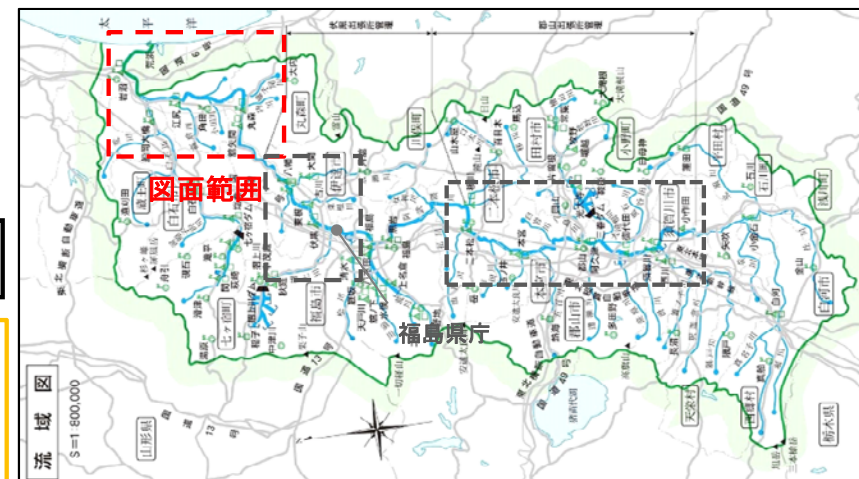
浸水面積 約5,300ha

【暫定】<速報>10月16日調査

浸水面積 約970ha

【暫定】<速報>10月17日調査

【暫定】<速報>10月18日早朝 浸水面積 約0ha(概ね解消)



凡例

- 10月13日調査
- 10月16日調査
- 10月17日調査

- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



浸水面積 約600ha

浸水面積 概ね解消

【暫定】<速報>10月16日調査



凡例

-  10月13日調査
-  10月16日調査

- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平26情使、第202-GISMAP34139号)

浸水面積 約2,800ha

浸水面積 概ね解消

【暫定】<速報>10月13日調査

【暫定】<速報>10月16日調査



凡例

- 10月13日調査
- 10月16日調査

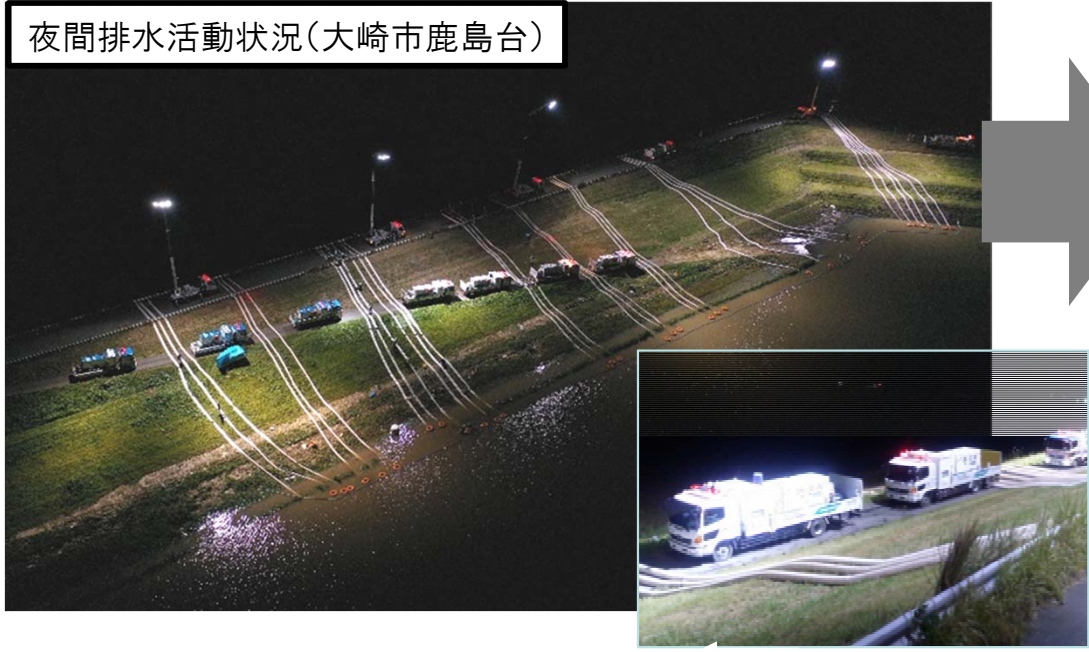


- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

■ 夜間作業に限られていた排水ポンプ車による排水活動を、約100mのブリッジを敷設することにより、24時間体制の増強(10/19)を図りました。

■ 家屋浸水の早期解消を目指し、24時間体制で排水活動を実施

夜間排水活動状況(大崎市鹿島台)



排水活動状況(大崎市鹿島台)



■ ブリッジ 19日9時完了(施工延長100m、8台対応)



排水ポンプ車による排水活動(宮城県丸森町)

■ 宮城県丸森町に排水ポンプ車を現地に派遣し、排水作業を実施。



10月13日 排水ポンプ車排水状況



10月14日 排水ポンプ車排水状況

台風第19号 吉田川浸水箇所における道路啓開

- 大崎市の支援要請に基づき、専門チームを立ち上げ、浸水が解消した生活道路の啓開を実施。
- 平成30年7月豪雨の際に、岡山県倉敷市真備町で道路啓開を対応した「中国地方整備局TEC-FORCE」からの支援を受け、関係機関と調整を行い、早期に道路交通を確保。

道路啓開 土砂等撤去実施箇所



台風第19号 吉田川浸水箇所における道路啓開

- 浸水箇所における道路啓開は、10月26日までに完了し、大崎市長に対して対応状況を報告。
- 道路啓開の進捗とともに、地元の方々やボランティアなどによる生活再建に向けた復旧作業も加速。



大崎市長への対応状況の報告(10月26日)



地域住民による稲わらの清掃活動



大崎市長からのお礼
(排水支援チーム、北海道・中部・中国TEC-FORCE)



ボランティアによる作業の状況

まるもりまち
(宮城県丸森町) 国道349号 道路啓開の状況

- 宮城県が管理する国道349号の道路啓開を実施
- 道路法第48条の19に基づく道路啓開は、重要物流道路制度創設後全国初の実施



災害対策用通信設備による自治体への支援状況

- 丸森町役場周辺は大規模な浸水となり、固定電話や携帯電話が使用できなくなったため、衛星携帯電話を配備し、ホットラインを確立
- 災害時においても影響を受けない衛星通信設備(衛星通信車、Ku-SAT)やi-RAS^(※)を使用し、迅速に被災現場の映像を収集し、自治体へ配信

(※)i-RAS:5GHz帯無線アクセスシステム

被災映像提供等支援自治体一覧

県名	自治体	通信回線
宮城県	宮城県庁	自営光ネットワーク
	丸森町	衛星通信車 衛星携帯電話 自営光ネットワーク
福島県	福島県庁	自営光回線
	福島市	自営光ネットワーク
	郡山市	自営光ネットワーク
	須賀川市	民間通信事業者回線
	伊達市	自営光ネットワーク
	本宮市	自営光ネットワーク
	二本松市	自営光ネットワーク
	国見町	民間通信事業者回線
	鏡石町	衛星通信車 民間通信事業者VPN (臨時)
	矢吹町	衛星通信車 民間通信事業者VPN (臨時)
玉川村	民間通信事業者回線	



丸森町役場に衛星携帯電話を配備し、ホットラインを確立(町長)



丸森町役場周辺の浸水状況(2019年10月14日11時)



衛星通信車を配備し映像を配信(丸森町)



i-RASによる映像伝送(玉川村)



Ku-SATによる映像伝送(鏡石町)